

# 岡山大学構内遺跡調査研究年報 4

1986年度

岡山大学埋蔵文化財調査室

## 序

1986年において埋蔵文化財調査室が実施した事業は、医療短期大学校舎新営予定地と男子学生療改築予定地の発掘2件をはじめとして、試掘調査2件、立会調査22件の多数におよびました。調査員は八面六臂の活躍をすることとなったのですが、運営にかなりの無理が生じてきたことも否定できません。

調査室は、発足してはや4年度を経過したことになりますが、学則による大学の正規機関となっていないため、予算や職員の制度上のあり方について、さまざまな困難に直面していることも事実です。現状のままでは事業の円滑な運営が望めないと予測されるため、1987年1月以来、調査室では安定した調査組織の確立、出土遺物の研究・保管施設の確保、構内遺跡の詳細分布調査の実施などについて具体策を練ってきたところです。さいわい施設設定委員会埋蔵文化財保護対策検討専門委員会や大学事務局でも、この問題について本格的な検討をはじめられることとなりました。

関係各位のいっそうの御努力により、調査体制の根本的な確立が1日も早くはかられることを希望しますとともに、大学構内の埋蔵文化財の保護と調査について、全学の深い理解と協力が得られますことを、あらためてお願いする次第です。

1987年10月

岡山大学埋蔵文化財調査室長

稲 田 孝 司

## 例 言

- 1 本年報は岡山大学構内において1986年4月1日から1987年3月31日までに実施した埋蔵文化財の調査と保存、及び岡山大学埋蔵文化財調査室の活動成果をまとめたものである。
- 2 岡山大学構内の埋蔵文化財の調査に際しては、国土座標を測量等の基準としているが、岡山大学津島地区と同鹿田地区ではその設置基準を次のように定めた。
  - 1) 岡山大学津島地区では、国土座標第5座標系 ( $X = -144,500$ ,  $Y = -37,000$ ) を起点とし、一辺50mの方形の地区割をして構内座標とし、遺跡の位置を表示した。また、津島キャンパスは調査の便宜上、大きく津島北地区と同南地区に二分する (図版1)。
  - 2) 岡山大学鹿田地区では、国土座標第5座標系 ( $X = -149,800$ ,  $Y = -37,400$ ) を起点とし、座標軸を  $N 15^{\circ} E$  に振ったものを基軸とした構内座標を設置した。地区割は一辺5mの方形を用い、調査に対応した (図版4)。
  - 3) 本文中で用いる方位は津島地区では磁北を、鹿田地区では真北を使用している。
- 3 岡山大学構内及び関連施設内の遺跡の名称は、農学部演習林内に分布する古墳群等の周知の遺跡の場合、そのまま踏襲する。津島地区構内で新たに発見された遺跡は、遺存する小字名を用いるか、岡山大学津島地区遺跡群と仮称し、地点ごとに任意の記号を用いて示す。また、鹿田地区では全域において、これまで称されてきた「鹿田遺跡」を用いる。
- 4 表に記載した所属部は、原則として各学部の頭文字を略号として用い、医学部附属病院等については医病という形で略した。
- 5 本文・目次・挿図・図版等で使用の調査番号は表1の番号に一致する。
- 6 遺構の実測は青木進治郎・石坂俊郎・伊藤真・栄一郎・八谷隆生・松岡かおり・宮原博幸・保田義治・山本悦世が行った。遺構の浄写は石坂・栄・松岡・保田・山本が、遺物の実測・浄写は石坂・栄・山本が担当した。
- 7 本文は第2章2～4を石坂・栄・松岡・山本が分担して執筆し、それ以外は山本が担当した。執筆者名は末尾に記した。
- 8 本年報に掲載の津島地区の地形図は岡山市発行の1/2500の地形図を複製したものである。
- 9 編集は稲田孝司の指導のもとに松岡の協力を得て山本が当たった。

# 岡山大学構内遺跡調査研究年報 4 1986年度

## 目 次

第1章	岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項	1
1	岡山大学施設設定委員会埋蔵文化財保護対策検討専門委員会規程	1
2	岡山大学埋蔵文化財調査室設置要項	2
第2章	1986年度岡山大学構内遺跡調査報告	3
1	調査の概要	3
2	発掘調査	5
①	医療技術短期大学部校舎新営に伴う発掘調査	5
②	学生部男子学生療改築工事に伴う発掘調査	10
③	屋内運動場新営に伴う発掘調査	12
3	試掘調査	16
4	立会調査	18
(1)	津島地区	18
(2)	鹿田地区	18
5	分布調査	20
第3章	1986年度普及・研究活動	21
1	資料整理	21
2	刊行物	21
3	調査員の活動	21
4	日誌抄	22
第4章	1985年度までの活動と1986年度遺物保管状況	24
1	1985年度までの岡山大学構内主要調査	24
2	1985年度までの刊行物	27
3	1986年度までの遺物収蔵量および保管施設	27
(1)	遺物収蔵量	27
(2)	保管施設	28
第5章	1986年度構内遺跡の調査および活動のまとめ	29

## 挿 図 目 次

図 1	医療技術短期大学部予定地 南北土層断面図	5
図 2	調査区全体図	6
図 3	井戸 2 平・断面図	8
図 4	共同溝部分出土遺物	9
図 5	学生部男子学生寮予定地 土層柱状図	10
図 6	遺構配置図	11
図 7	屋内運動場予定地 調査坑配置図	12
図 8	A 地点 東壁土層図	12
図 9	B 地点 北壁土層図	13
図10	C 地点 南壁土層図	13
図11	A 地点 溝 1・2・3	14
図12	出土遺物	15
図13	総合大学院予定地 調査坑配置図・土層柱状図	16
図14	B 区 5 層遺構検出状況	17
図15	出土遺物	17
図16	立会調査 <sup>㉔</sup> 調査地点	18
図17	立会調査 <sup>㉔</sup> 土層柱状図	19
図18	新保管施設利用状況	28

## 表 目 次

表 1	1986年度における調査一覧	3
表 2	1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）	24
表 3	1985年度以前の構内主要調査（1983～1985年度）	25
表 3 - (1)	発掘調査	25
表 3 - (2)	試掘調査	25
表 3 - (3)	立会調査	26
表 4	埋蔵文化財調査室刊行物	27
表 5	埋蔵文化財調査室収蔵遺物概要	28

## 図 版 目 次

- 図版 1 津島地区全体図
- 図版 2 津島北地区
- 図版 3 津島南地区
- 図版 4 鹿田地区全体図
- 図版 5 鹿田地区（医療技術短期大学部発掘調査）
  - 1 本体工事部分調査区全景（南から）
  - 2 南共同溝 木杭検出状況（南から）
  - 3 南共同溝 東西断面（南から）
- 図版 6 津島地区（学生部男子学生寮発掘調査）
  - 1 中世（5層）遺構検出状況全景（西から）
  - 2 古代（7層）遺溝検出状況全景（西から）
- 図版 7 津島地区（屋内運動場発掘調査）
  - 1 A地点 南壁（北から）
  - 2 ♪ 溝 1（北から）
- 図版 8 津島地区（屋内運動場発掘調査）
  - 1 C地点 南壁（北から）
  - 2 ♪ 10層上面検出の落込み
- 図版 9 津島地区（総合大学院試掘調査）
  - 1 B区 遺構確認状況（北から）
  - 2 A区 西壁（東から）

